

環境行動計画

「第10期環境行動計画」では、気候変動や資源循環などの重要課題を指標として設定し、取り組んでいます。

第10期環境行動計画（2021～2022年度）

カテゴリー	目標	対象範囲	2022年度	2021年度		
			年間指標	年間指標	実績	判定
気候変動への対応 (脱炭素)	事業拠点のGHG排出量の削減 ・事業拠点の温室効果ガス（GHG）排出量を2022年度末までに2013年度比で24%以上削減する。	本社・東京工場 新潟工場 熊谷SSC	6,057トン-CO ₂ 以下	6,172トン-CO ₂ 以下	5,568トン-CO ₂ (-29.1%)	達成
	再生可能エネルギーの導入（*） ・電力における再生可能エネルギー利用率を2022年度末までに8%へ拡大する。	本社・東京工場 新潟工場 熊谷SSC FDTP FFNA	8%	4%	4.7% (*)	達成
	製品の使用時消費電力によるCO₂排出量の削減 ・製品の使用時消費電力によるCO ₂ 排出量を2022年度末までに2013年度比で15%以上削減する。	本社・東京工場	15%以上	CO ₂ 排出量削減	開発中	—
資源循環の促進	製品の省資源化・資源循環性向上の推進 ・新製品の資源効率を2022年度末までに2019年度比で10%以上向上させる。	本社・東京工場	10%以上	資源効率向上	開発中	—
独自設定テーマ	廃棄物発生量の削減 ・廃棄物発生量を2022年度末までに2012～2014年度平均の27%以上削減する。	本社・東京工場 新潟工場 熊谷SSC	299トン以下	299トン以下	233トン (-43%)	達成
	SDGs貢献ソリューションの開発・提供 ・SDGs貢献ソリューションを2022年度末までに累計10件以上開発する。	本社・東京工場 熊谷SSC 大宮SC・FJFS	5件以上	5件以上	8件	達成
	良き企業市民としての活動 ・幅広い社会貢献活動を推進する。	本社・東京工場 新潟工場 熊谷SSC 大宮SC・FJFS	40件以上	40件以上	56件	達成

* 再生可能エネルギーの導入は、2022年度から国内3拠点および海外2拠点に対象範囲を拡大。2021年度は、年初の対象拠点だった新潟工場の実績のみで判定。